

GAKUMO



学芸大総合OPAC (GAKUMOPAC)の公開について

文科省事業報告会

2021年12月18日

高橋菜奈子(東京学芸大学附属図書館)

概要

東京学芸大学の小学校から大学までの図書館に所蔵されている蔵書を统一的に検索できる学芸大総合OPACを構築し、2021年12月13日にインターネットで公開した。

名称: 学芸大総合OPAC(愛称GAKUMOPAC(ガクモーパック))

サイトURL: <https://www.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/gakumopac/>

管理: 学校図書館運営専門委員会および司書部会



タイムライン

◆2020年

- COVID-19を契機に複数の附属学校がカーリル学校図書館支援プログラムに参加
 - ISBNのリストがあれば簡単に、簡易OPAC構築可能
 - 利用した児童・生徒からは高評価
- 2020年8月1日 学校司書講習2020「学校図書館の検索のイマ！」
 - カーリル吉本龍司氏の講演
 - 学芸大の総合OPACを試作し、公開の合意形成へ
- 2021年1月25日 カーリル社との協定書の締結

◆2021年

- 2021年12月13日 GAKUMOPACのインターネット公開
 - 学校図書館活用データベースにバナーを設置
 - 大学図書館のウェブサイトからもリンクを形成

GAKUMOPAC参加校一覧

学校名	OPACデータ提供の方法
附属世田谷小学校	既存OPAC(情報館)との連携
附属小金井小学校	カーリル学校支援プログラム
附属大泉小学校	カーリル学校支援プログラム
附属竹早小学校	カーリル学校支援プログラム
附属世田谷中学校	既存OPAC(情報館)との連携
附属小金井中学校	カーリル学校支援プログラム
附属竹早中学校	カーリル学校支援プログラム
附属高等学校	既存OPAC(情報館)との連携
附属国際中等教育学校	カーリル学校支援プログラム
附属特別支援学校	カーリル学校支援プログラム
大学附属図書館	既存OPAC(LIMEDIO)との連携

公開サイトへの入口

学校図書館活用データベースからのリンク

サイト内検索: 検索

東京学芸大学 学校図書館運営専門委員会

先生のための学校図書館活用データベース

学校図書館活用DB | 授業と学校図書館 | 読書・情報リテラシー | 学校図書館の日常 | テーマ別ブックリスト

今すぐ授業事例を探す ... 校種、教科・領域、学年を指定して授業実践を検索できます。

当サイトの使い方

- 先生にインタビュー
- 授業と学校図書館
- 使いこなす情報のチカラ
- 読書・情報リテラシー
- 本の魅力を伝えるおれこれ
- 学校図書館の日常
- 使えるブックリスト紹介
- テーマ別ブックリスト
- ちょこっとアイデア玉手箱
- 読書のお立ち情報
- 活かそう同僚のまたび
- 読書研修の報告

GAKUMOPAC
東京学芸大学図書館の未来を拓く

大募集!!

Library of the Year

お知らせ
※今年度も12月18日(土) 13:00よりオンラインによる文科省事業報告会を開催します。参加を希望する方は、こちらから申し込みください。→ **みんなで作ろう! 学校図書館VOL13申し込みフォーム** (募集人数を最大500名としました。多くの皆様の参加をお待ちしています。後日ZOOM URLをお送りします。) 今年度は、3校による学校図書館を活用した実践報告です。GIGAスクール構架下の学校図書館のあり方についてぜひ一緒に考えませんか? 12月10日までに申し込みされた方には、ZoomウェビナーのURLをお知らせしました。その後申し込み込まれた方には、自動返信メールでURLをお知らせいたします。万一、届いていない方は、schoolib@u-gakugei.ac.jpまでご連絡ください。(★を@に変えてください。)

当日のプログラム→ [令和3年度文科省事業報告会プログラム.pdf](#)

文科省事業報告会「みんなで作ろう! 学校図書館 Vol12」→ [録画配信申し込みフォーム](#)

11月5日に「学校図書館の検索のイマ! Part2」に参加しました。現在録画配信→ [こちら](#)

大学図書館ウェブサイトからのリンク

東京学芸大学 学校図書館
Tokyo Gakugei University Library

12月18日の告知事項
最新記事
お申し込み

利用案内 | 資料検索 | 授業・研究支援 | コレクション | 学校の方へ | 新着図書について

電子ジャーナル 電子ブック
OPAC詳細検索
Database
本学図書論文 (学内のみ)
本学図書
本学研究論文 (東京学芸大学リポジトリ)

「資料検索」の一番下のメニュー

お知らせ

- 2021-12-13 外国語学部デジタル教科書委員会「デジタル教科書ってなんなの?」を開催
- 2021-12-08 東京図書館協会ONLINEにおけるイベント開催報告
- 2021-12-08 電子ブック・Kindleの全誌試し読みが利用できます! (2022/2/28まで)
- 2021-12-02 学芸大学生会「DONATION WEEK with ONE CONE! 500円上限キャンペーン (12/6-12/12)」
- 2021-12-01 10年経った電子展示「おもちゃ箱」展第六で盛り上げ、展覧会を開催しました!

新ラーニングコンモズが利用開始となりました

本学デジタルアーカイブ「学びの歴史」が「みんなで作ろう!」に追加しました

学芸大デジタル書架「ギャラリー」でW受賞!

初めて附属図書館を利用するための図書館ガイド

R3年度電子展示「おもちゃ箱・絵画六で遊ぼう!」

②バナー

GAKUMOPAC



図書館



詳細検索

2094件見つかりました。

検索対象の絞り込み

すべての学校図書館+大学

- 小金井市エリア
- 世田谷区エリア
- 文京区エリア
- 練馬区エリア
- 東久留米市エリア

外部サイト

- NDLサーチ
- CiNii Books

Powered by カーリル

タイトル	著者名	出版者	出版年	ISBN	所蔵館
図書館ねこデビュー 5館所蔵	ヴィッキー マイロン/著	早川書房	2008	9784-15-208965-6	X
希望の図書館	リサ クライン ランサム/作	ポプラ社	2019	9784-591-16419-8	6
図書館「超」活用術	奥野 宣之/著	朝日新聞出版	2016	9784-02-251364-9	2
図書館さんぽ	図書館さんぽ研究会/〔編〕	駒童出版	2018	4-909646-13-2	2
『図書館年鑑』にみる「図書館の自由に関する宣言」2004年から	日本図書館協会図書館の自由委員会/編	日本図書館協会	2019	4-8204-1908-2	1
物語の森へ 児童図書館基本蔵書目録 2	東京子ども図書館/編	東京子ども図書館	2017	9784-88569-200-0	4
図書館と学校が地域をつくる	図書館振興財団 編著	学文社	2016	9784762026751	3

<https://www.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/gakumopac/>

学校司書による活用

- 授業支援・相互貸借に役立っています。実際の書名まで指定してお借りできるので、お互いの手間や負担も減っていると思われます。
- 選書の際の参考にしたり、人気の度合いを予測したりするのに利用しています。
- 分類番号の確認や、選書、資料収集の参考に使用している。本当に便利で助かっている。効率アップにつながっていると思う。
- 膨大な出版物の中から件名だけで検索するとなかなかピンポイントの本を探すのが大変ですが、GAKUMOPACで件名を入れて探せば、授業に即戦力で役立つような本、しかも学芸附属ということである程度信頼性の置ける本を探すことができる。
- 校外から簡単に検索できることも、自宅での仕事や外で急に蔵書を調べなければいけない時に役立っています。
- 学校のOPACだと、1文字検索ができないのと、書影が出ないので、その確認にも利用することがある。
- 学校によって蔵書にも特色があることがわかり、授業で取り上げるテーマの傾向も見えてきて面白いです。

児童・生徒の利用の現状

- 小学校の本の検索で出てこない本を探したり、リクエストしたい本の確認などに使用している
- 3年生には国語の課題で実際に使ってもらいました。1年生にはこの冬休みに探究学習のテーマを決める際や、本を探すのに使ってみるように、図書館の大型ディスプレイで実際に見せました。
- 図書館内で表紙のイメージなどから検索をしたい時は司書の端末からGAKUMOPACにアクセスをして案内している。
- 帰国生が漢字にルビがふってある小学校高学年向けの資料も必要となることがあるので、小学校の蔵書も興味深く見えています。
- 自宅近くの公共図書館検索に活用。QRコードを使って生徒各自のスマホに入れるようにオリエンテーションで指導をしている。
- まだ生徒自身が使いこなすところまで浸透していません。図書資料の検索を手伝うためにGAKUMOPACを開き、情報を提供しています。実際に他の附属校や大学の資料を知ったことで取り寄せにつながったケースも何件があります。
- 教員にはお知らせしたが、児童にはまだお知らせしていません。

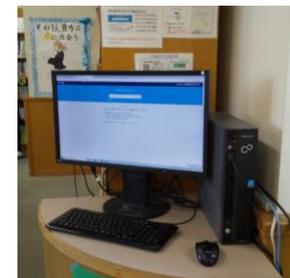
OPAC端末の設置状況

- OPAC端末のある学校は10校中7校
- 内GAKUMOPACも設置している学校4校

1. OPAC端末を図書館内で提供している

[詳細](#)

[Insights](#)



附属竹早小中メディアセンター

2. GAKUMOPACを利用できる端末を図書館内で提供している

[詳細](#)

[Insights](#)



OPACの公開状況

➤ OPACをインターネット公開している学校は10校中1校

4. OPACを学校内イントラネットのホームページで提供している

[詳細](#)

 Insights

 はい	2
 いいえ	8



5. OPACをインターネットの学校ホームページで提供している

[詳細](#)

 はい	1
 いいえ	9



➤ そもそも、児童・生徒用の図書館ホームページがある学校は3校

一人一台端末での活用

➤ 附属学校10校中3校でGIGAスクール端末の活用

6. 一人一台端末でOPAC検索やGAKUMOPAC検索が簡単にできるように設定している

詳細

Insights

● はい	3
● いいえ	5
● わからない	2



➤ 附属竹早小学校「未来の学校みんなで創ろう。プロジェクト」でデジタルプラットフォームの整備

➤ Microsoft SharePointを使って、児童のためのリンク集を提供し、GIGAスクール端末にショートカットを置く

➤ その中にGAKUMOPACへのリンクを表示

➤ 東京学芸大学附属学校園竹早地区 2021年度公開研究会で紹介予定

総合目録のメリット

◆児童・生徒にとって

- 児童・生徒にとって、いつでもどこでも自校のOPAC検索ができるようになることは、GIGAスクール時代の学びに欠かせないメリットがある。図書館資料の検索に対するハードルを下げ、これまでは検索を利用していなかった児童・生徒への支援強化にもつながる。
- 総合OPACによって、学芸大全体の資料が検索できることによって、自校にとどまらず、外部に広がる広大な情報資源の存在を知ることができ、情報の探し方を習得する大きなメリットがある。
- 小中高大の図書館がすべて検索できることによって、高校生が大学の本に興味を持ったり、中学生でも小学校の本で復習をしたり、それぞれの知的関心・レベルに合わせた情報を自ら得られる可能性が広がる。

◆附属学校司書にとって

- 他の附属学校から図書を借りる際に、あらかじめ検索して、具体的な書名を指定して依頼することができる。
- 他校の蔵書構成を参考にすることができ、自館の選書に役立つ。

今後への期待

- ◆ GIGAスクールの展開の中で、学校図書館蔵書の検索を当たり前のも
のに！
- ◆ デジタルと紙のどちらにも対応できる学校図書館に！
- ◆ 児童・生徒自らが、広大な情報資源の中で自由に学びを深める機会
を！